

女子大学

企画課管理用 社 — A — 1

推進主体	学芸員課程委員会
責任者	学芸員課程主任

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
社	—	A	新展示室の開室と教育・研究活動の発信	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容

耐震改修後の4号館に開設する2つの展示室を本学教育・研究活動の発信のための新たなハブの一つと位置付ける。本学および女子中・高等科が所蔵する資料を活用した、戸山キャンパスの歴史と女子教育の歴史の常設展示を実施する第一展示室では「これまでの歴史や伝統に基づいた本質的なものを忘れ」ない(「学習院VISION 150」)ことを内外に示し、また「学習院科目の充実」(同)にも寄与する場となる。学芸員課程実習の成果、教員の研究活動、学生の課外活動等を企画展示として発信する第二展示室は、学士課程教育・大学院教育に関する計画および「知の集積と融合による特色ある研究拠点の形成」(同)に寄与するものである。

4号館改修後の適切なタイミングで両展示室の開設が可能となるよう、資材の調達等を計画的に進めていく。また、展示室は女子中・高等科との共用であることを踏まえて、一貫教育も意識し、女子中・高等科と十分な連携をはかりながら、運用をすすめることとする。また、社会貢献として外部公開を、セキュリティ等の観点からの管理体制のあり方の検討を行いつつ、段階的にすすめていく。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

第一展示室、第二展示室の段階的な開設と運営

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定	①第一展示室(常設展示室)		段階的な開設・外部公開				
	②第二展示室(企画展示室)		段階的な開設・外部公開				

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称			指標の定義(計算式/説明)				
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
(2022年度) 令和4年度	<p>①令和5年9月の4号館耐震改修工事完了に向けて、展示室の備品の調達を一部開始するとともに、令和5年度分の予算要求を行う。</p> <p>②令和5年度の開室にそなえ、展示室の運用規程・運営組織を検討する。検討にあたっては、女子中・高等科との共用であるため、両校で連携しながらすすめていく。</p> <p>③4号館の耐震工事に伴い、施設課の合意のもと、展示資料として仮4号館に搬出した部材や建築意匠の確認・整理をすすめる。併せて、こうした資料に関連して、写真撮影等による現場の記録も検討する。</p>	<p>①第二展示室の什器の一部調達、第一展示室に展示予定の建築模型の制作を行った。令和5年度以降も引き続き、両展示室の備品等について調達をすすめていく必要がある。</p> <p>②予算配分の関係から、第一展示室の展示の完成は令和9年度末となった。また女子部の予算縮小に伴い、第二展示室は女子大管轄となった。これに伴い、第二展示室については女子大単独で、第一展示室については女子中・高等科と連携しながら、令和5年度以降も検討をすすめていく。</p> <p>③建築意匠の調査・撮影、および建物基礎部分の調査を行い、保存・活用するものを選定した。令和5年度は仮4号館が解体されるため、第一展示室・収蔵庫に搬出する必要がある。</p>
(2023年度) 令和5年度	<p>①令和5年度末の第二展示室開室、令和9年度末の第一展示室の完全開室に向けて、備品の調達を一部開始するとともに、令和6年度分の予算要求を行う。</p> <p>②展示室の開室にそなえ、運用規程・運営組織を検討する。とくに第一展示室については検討にあたっては、女子中・高等科との共用であるため、両校で連携しながらすすめていく。</p> <p>③仮4号館に搬出した部材や建築意匠、建物基礎部分を、第一展示室・収蔵庫に搬出し、保存・活用のための整理作業等をすすめる。</p>	<p>①第二展示室の運用を開始した。第一展示室については令和6年度以降も引き続き、第一展示室のこのほかの備品等について調達をすすめていく必要がある。</p> <p>②第二展示室の運用のため、学芸員課程委員会規程を改正し、規程集に掲載した。第一展示室については、女子大学・大学の統合後の学芸員課程のありようも見据える必要が生じたため、運用規程・運営組織の検討は課題として残された。</p> <p>③仮4号館に搬出した部材や建築意匠、建物基礎部分を第一展示室に搬出した。さらに、展示予定の木質の建築意匠の劣化が著しかったため、燻蒸作業等を実施した上で、演示を完了した。また、什器として建築意匠を再活用したベンチの作成を実施した。引き続き、整理作業等を実施し保存・活用をすすめる必要がある。</p>
(2024年度) 令和6年度	<p>①令和9年度末の第一展示室の開室に向けて、備品の調達をすすめるとともに、令和7年度分の予算要求を行う。</p> <p>②第一展示室の開室にむけて、女子大学・大学の統合後の学芸員課程のありようも見据えながら、運用規程・運営組織を検討する。女子中・高等科との共用であるため、両校とも連携しながらすすめていく。</p> <p>③第一展示室に搬出した部材や建築意匠、建物基礎部分について、整理作業等をすすめる。また、収蔵庫のコンディションが整うのを待って、秋頃に保存分を収蔵庫に搬入、活用分については展示を完成させる。外部倉庫からも収蔵庫に資料を搬入し、整理作業等をすすめる。</p>	
(2025年度) 令和7年度		
(2026年度) 令和8年度		
(2027年度) 令和9年度		